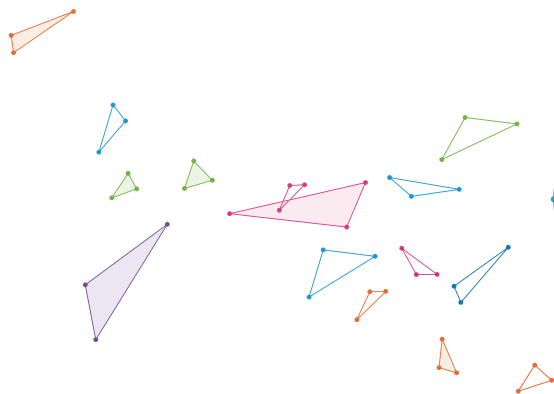




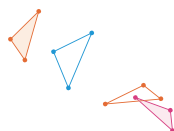
TIS
TIS INTEC Group



I'm a Mover.

TIS株式会社
Business Report
第12期 営業のご報告

2019年4月1日～2020年3月31日



証券コード:3626

Message

株主のみなさまへ



第12期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、第3四半期までは緩やかな回復基調が続きましたが、第4四半期になって、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により急速に悪化し始め、先行きも不透明な状況となりました。また、当社グループの属する情報サービス産業の事業環境は、期末にかけて新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部の企業で業績悪化に伴うソフトウェア投資の抑制の動きもみられるようになりました。

このような状況の中、当社グループは、「グループビジョン2026」の達成に向けた土台構築のため、現在遂行中の中期経営計画(2018-2020)に基づき、スピード感のある構造転換と企業価値向上の実現に向けた諸施策を推進しています。その結果、当連結会計年度において増収増益を達成するとともに、過去最高業績となり、中期経営計画(2018-2020)で定めた4つの重要な経営指標(戦略ドメイン比率、営業利益、営業利益率、ROE)全てについて、1年前倒しで達成いたしました。

中期経営計画(2018-2020)の最終年度となる2021年3月期におきましては、引き続き持続的な成長に向けた着実な進展を果たすべく、各種施策を精力的に行ってまいります。加えて、産業構造の変化や社会課題など、外部環境の変化を敏感に察知し、顧客ニーズに先回りすることで、ビジネスの成長へ結びつけることができるよう、努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

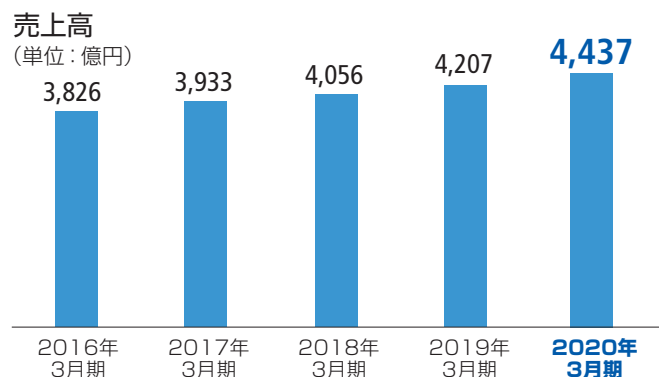
代表取締役会長兼社長

桑 野 徹

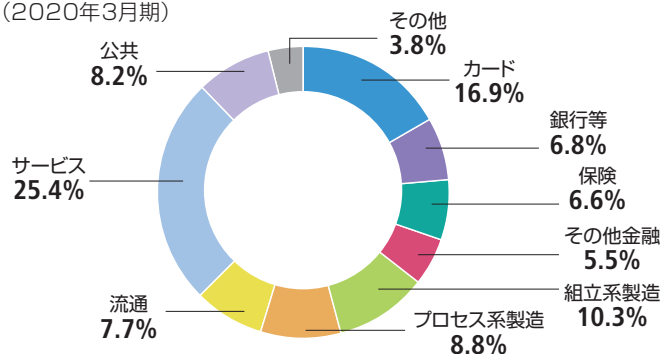
Highlights

連結決算ハイライト

IT投資の拡大を背景に事業拡大および収益性向上が継続。 上期決算で引き上げた修正業績予想を上回り、過去最高業績。



業種別売上高構成比
(2020年3月期)



Point

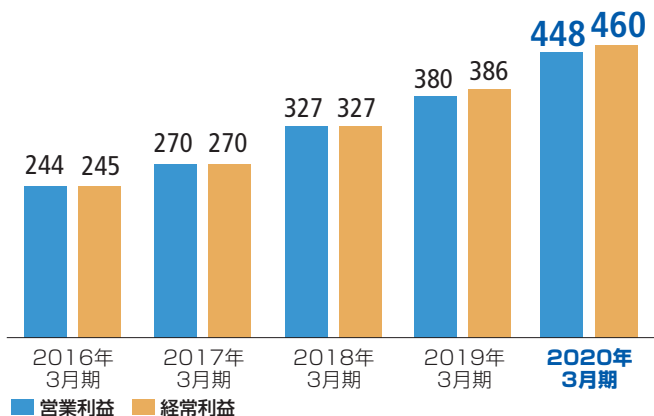
売上高は、
顧客ニーズを
的確に捉え、
前期比増収

営業利益は、増収効果や収益性向上による
売上総利益の増加が、構造転換に向けた対応強化
およびブランド強化に向けた施策等の販売費及び
一般管理費の増加を吸収し、**前期比増益**

詳細は連結財務諸表
のポイントへ。

➡ **P.7-8**

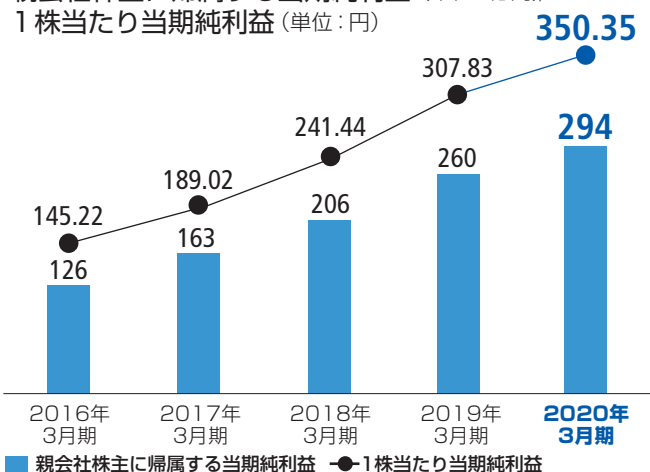
営業利益／経常利益
(単位：億円)



■ 営業利益 ■ 経常利益

※記載金額は、1億円未満を切り捨てて表示しています。

親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：億円) /
1株当たり当期純利益 (単位：円)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益 ● 1株当たり当期純利益

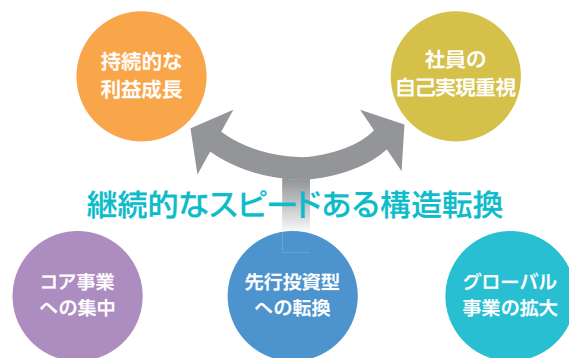
Medium-term Management Plan

中期経営計画の進捗状況について

基本方針・重要な経営指標について

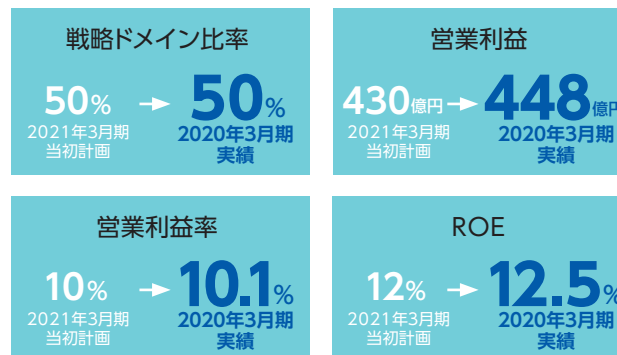
- グループ一体経営の加速により、中期経営計画の重要な経営指標全てについて、最終年度である2021年3月期の目標を1年前倒しで達成しました。

<基本方針>



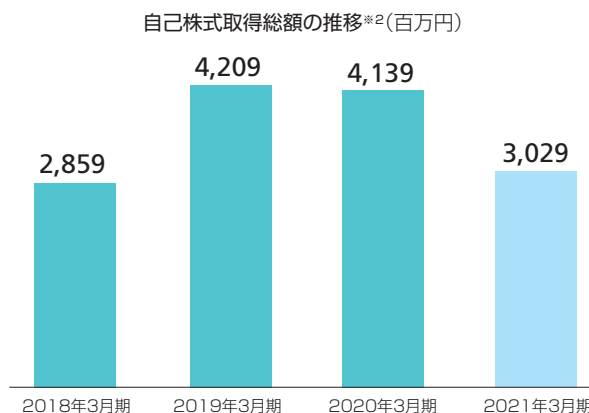
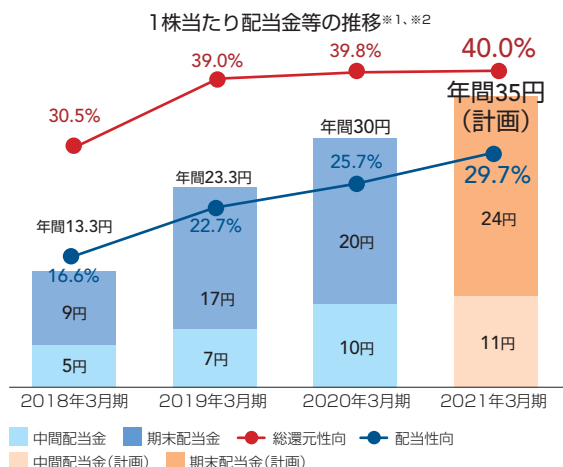
<重要な経営指標>

(2021年3月期)



株主還元について

- 2020年3月期は、業績好調を受けて10円増配し、総還元性向は39.8%となりました。
- 2021年3月期は、総還元性向^{※1}の目安を35%から40%に引き上げるとともに、配当性向は30%を目指してまいります。



※1 総還元性向(純利益に対する配当と自己株式取得の合計額の比率)

※2 当社は、2020年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、2020年3月期以前の実績については、株式分割後に換算した値で表示しています。

事業を通じた社会課題の解決に向けて

- 新型コロナウイルス感染症拡大を契機として、産業構造の変化や新しい生活様式等、社会全体の在り方が大きく変化すると同時に、これまで以上にデジタル技術が社会変革をリードしていくと予測されます。
- こうした中、当社グループにとって優先度の高い社会課題と事業領域の特定を推進し、社会課題の解決をリードする企業グループへと変革することが、企業価値向上に不可欠と認識しています。

事業を通じて社会課題を解決し、彩りあるサステナブルな社会の創造に寄与



キャッシュレス

OUR PHILOSOPHY

エネルギー



過疎地域の活性化

超高齢化社会における地域交通の提供

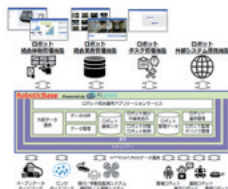
エネルギーの在り方の変化

ムーバーとして、未来の景色に鮮やかな彩りを

コーポレートサステナビリティにおける4つの重点テーマ

1. 多様な人材が生き生きと活躍する社会を
2. 高品質なサービスを通じ、社会に安全を
3. イノベーション・共創を通じ、社会に豊かさを
4. コーポレートガバナンスを高め、社会から信頼を

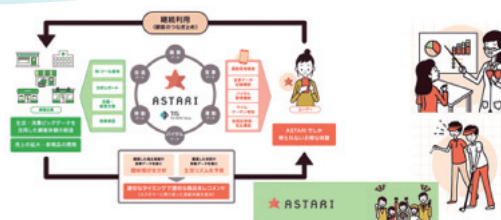
ロボティクス



<RPA>



ヘルスケア



「株主還元」について詳しくは当社HPへ
https://www.tis.co.jp/ir/stock/shareholder_return/



「事業を通じた社会課題の解決」について詳しくは当社HPへ
<https://www.tis.co.jp/group/csr/report/business/>



中期経営計画への取り組み：海外事業戦略

- ASEANトップクラスのIT企業連合体の組成を目指し、事業領域拡大・戦略的投資を推進しています。
- 複数の有力パートナーをグループとして迎え入れ、グローバル事業の更なる拡充に向け大きく進展しています。

2020年3月期の取り組み

2019年5月

SQREEM Technologies PTE.LTD.と資本・業務提携

人の行動に特化したAI技術および
大量データを保有する同社との協業により、
真のマーケットニーズに先回りしたサービスを共同展開

2019年10月

PT Anabatic Technologies Tbkの株式追加取得

同社の経営管理支援および事業協業をこれまで以上に推進すべく、
出資比率を引き上げ、コミサリス（監査役）を派遣

2020年2月

Sequent Software Inc.の子会社化

トークナイゼーション技術の取り込み、
デジタルウォレットサービスの
拡大加速およびIoT決済への対応を推進

Grab Holdings Inc.と資本・業務提携

IT戦略パートナーとしてのASEANトップクラスのスーパーアプリ事業者
との金融・決済分野における協業を通じたサービス力・ブランド力向上

2020年3月

上海訊聯数据服务有限公司(CardInfoLink) 持分法適用会社化

国内外におけるモバイル決済ネットワークの拡充と、
新たなFinTechサービスの共同企画・展開

MFEC Public Company Limitedの 子会社化に向けた株式取得の決定

子会社化によるMFECの事業構造転換の加速
およびグループ海外事業の規模拡大

最注力領域であるASEANの事業基盤を着実に拡充してきたことにより、
膨大な顧客基盤に対し現地ニーズに即した最先端サービスの展開が可能に

“飛躍的な事業規模拡大フェーズ”へ

中期経営計画への取り組み:コーポレートブランドの強化

- 当社グループ初のTVCM展開等を通じて、認知度向上に努めています。
- 引き続き、全てのステークホルダーから選ばれる企業グループを目指し、ブランド向上施策を実施してまいります。



CM認知度
(ビジネスパーソン)
2020年2月 TIS独自調査

46%

グループ認知度
(ビジネスパーソン)
2020年2月 TIS独自調査

13%増
(19%→32%)

IT業界新卒就職
人気企業ランキング
楽天みん就「2021年卒 IT業界新卒
就職人気企業ランキング」

全体: **15位** → **13位**
(昨年)
理系: **16位** → **9位**
(昨年)

「ビジネス機会の拡大」「人材採用力の向上」「働く誇りの向上」の獲得に向け、
2021年3月期も集中投資期間と位置づけ、戦略的なブランド投資を継続

「コーポレートブランドの強化」について、
詳しくは当社HP「CMスペシャルサイト」へ
<https://www.tis.co.jp/tisintec/special/>



または、「TIS インテックグループブランドサイト」へ
<https://www.tis.co.jp/tisintec/>



Financial Data

連結財務諸表のポイント

損益計算書ハイライト

(百万円)

	前連結会計年度 2018年4月 1 日から 2019年3月31日まで	当連結会計年度 2019年4月 1 日から 2020年3月31日まで
① 売上高	420,769	443,717
② 営業利益	38,043	44,839
経常利益	38,603	46,070
③ 親会社株主に帰属する当期純利益	26,034	29,411
売上高営業利益率	9.0%	10.1%
1株当たり当期純利益 (円)	307.83	350.35

貸借対照表ハイライト

(百万円)

	前連結会計年度 2019年3月31日現在	当連結会計年度 2020年3月31日現在
流動資産	176,231	181,543
固定資産	194,426	201,356
流動負債・固定負債	136,248	134,942
純資産	234,408	247,957
総資産	370,657	382,899

キャッシュ・フロー計算書ハイライト

(百万円)

	前連結会計年度 2018年4月 1 日から 2019年3月31日まで	当連結会計年度 2019年4月 1 日から 2020年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,558	38,569
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,213	△26,437
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,773	△14,544
現金及び現金同等物の期末残高	57,083	54,684

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

① 売上高 443,717百万円 (前期比+5.5%)

■セグメント別の概要

サービスIT

当社グループ独自の業務・業種ノウハウを汎用化・テンプレート化した知識集約型ITサービスを提供するビジネス

売上高 125,518百万円

営業利益 8,198百万円

BPO

豊富な業務・ITノウハウを活用し、マーケティング・販促業務や事務・契約業務等のビジネスプロセスアウトソーシングを提供するビジネス

売上高 33,699百万円

営業利益 2,622百万円

金融IT

金融業界に特化した専門的なビジネス・業務ノウハウをベースとして、事業の高付加価値化および業務のIT化・ITによる業務運営の支援を行うビジネス

売上高 114,472百万円

営業利益 14,936百万円

産業IT

金融以外の産業各分野に特化した専門的なビジネス・業務ノウハウをベースとして、事業の高付加価値化および業務のIT化・ITによる業務運営の支援を行うビジネス

売上高 202,701百万円

営業利益 19,159百万円

その他

リースなどの情報システムを提供する上での付随的な事業他

売上高 8,806百万円

営業利益 932百万円

② 営業利益 44,839百万円 (前期比+17.9%)

経常利益 46,070百万円 (前期比+19.3%)

③ 親会社株主に
帰属する
当期純利益 29,411百万円 (前期比+13.0%)

→ 詳しい財務情報は、当社ホームページにて公開しています。

TIS IR

検索

<https://www.tis.co.jp/ir/>



IT 投資動向が強まりを見せる分野において、顧客ニーズを的確に捉えたこと等が牽引し、前期比増収となりました。

※各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含みます。

(前期比 +6.7%)

(前期比 △3.8%)

決済関連ビジネスが売上増を牽引するも、事業強化のための先行投資費用の増加および戦略見直しに伴う損失計上等により前期比増収減益となりました。

(前期比 △7.0%)

(前期比 +42.2%)

前期に実施した子会社売却の影響が大きく売上減となったが、収益性改善が進んだことで前期比減収増益となりました。

(前期比 +7.6%)

(前期比 +16.7%)

根幹先顧客におけるIT投資拡大の動き等が大型開発案件の反動減を吸収し、前期比増収増益となりました。

(前期比 +6.9%)

(前期比 +29.7%)

製造業系の根幹先顧客やエネルギー系をはじめ、幅広い業種におけるIT投資拡大の動き等により、前期比増収増益となりました。

(前期比 △2.0%)

(前期比 △3.0%)

主に、グループのシェアードサービスを担うITサービスフォース株式会社を当社に吸収合併したことに伴い、同社事業に相当する業績について計上するセグメントを前第2四半期連結会計期間から変更したことによる影響で、減収減益となりました。

増収効果、収益性向上による売上総利益の増加が、構造転換およびブランド強化に伴う販管費の増加を吸収し、前期比増益となりました。

主に営業利益の増加に伴い、前期比増益となりました。

2021年3月期の連結業績予想

(2020年5月12日時点)

売上高	440,000百万円	(前期比	△0.8%)
営業利益	44,000百万円	(前期比	△1.9%)
経常利益	44,000百万円	(前期比	△4.5%)
親会社株主に帰属する当期純利益	29,500百万円	(前期比	+0.3%)

現時点では、新規顧客への提案活動等、営業活動の一部への影響がすでに生じており、今後は受注状況にも影響が及ぶ可能性がある等、第2四半期までは特に厳しい事業環境が予想されるため、売上高については前期比減収を見込んでいます。営業利益についても前期比減益の見込みですが、将来成長に資する投資を継続しながらも、収益性を重視する経営方針は堅持し、生産性向上施策の継続、コストコントロールの強化を行い、子会社の新規連結影響等を除く実勢ベースで前期並みの水準を目指し、前期に達成した営業利益率10%を維持できるよう努めてまいります。

(ご参考) 新型コロナウイルス感染症拡大を受けての当社グループの事業継続に関する取り組み

- 重要な社会インフラを支える使命と従業員の安全確保の両立を前提に、様々な取り組みを推進しています。

在宅勤務の重点実施 在宅勤務での 業務範囲の拡大

- 当社社員は原則在宅勤務とし、在宅勤務がどうしても不可能な場合は、時差勤務を強く推奨しています。
- 顧客常駐業務については、お客さまに当社方針を説明の上、可能な限り調整を実施しています。

データセンターに おける対応

- データセンター運用継続に必要な要員を定め、当該社員の通勤手段の確保を行い、通常どおり業務継続しています。
- スタッフの感染予防(マスクの着用、検温実施、定期消毒の実施)を徹底しています。

マスク、 除菌スプレーなどの 配備

- 社会インフラを支えるため、やむをえず出社せざるをえない社員のために、安全、安心な職場環境のための備品を配備しています。

Corporate Data

会社概要

概要 (2020年3月31日現在)

商 号 TIS株式会社
TIS Inc.
設 立 2008年4月1日
創 業 1971年4月28日
資 本 金 100億円
上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所
市場第一部 (証券コード: 3626)
グループ従業員数 19,744名
(従業員数は就業人員です。)

事業所

東 京 本 社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-17-1
住友不動産新宿グランドタワー
名古屋本社 〒451-0046 愛知県名古屋市中区牛島町6-1
名古屋ルーセントタワー
大 阪 本 社 〒530-0004 大阪府大阪市北区堂島浜1-2-1
新ダイビル

※その他事業所についてはホームページをご参照ください。
<https://www.tis.co.jp/company/network/>

役員 (2020年6月24日現在)

代 表 取 締 役 桑野 徹
会 長 兼 社 長
代 表 取 締 役 安達 雅彦
副社長執行役員
取 締 役 岡本 安史
副社長執行役員
取 締 役 柳井 城作
取 締 役 北岡 隆之 (株式会社インテック 代表取締役社長)
取 締 役 新海 章 (株式会社インテック 取締役 副社長執行役員)
取 締 役 佐野 勉一
取 締 役 土屋 文男
取 締 役 水越 尚子 (レフトライト国際法律事務所 弁護士)
常 勤 監 査 役 浅野 哲也
常 勤 監 査 役 松岡 達文
監 査 役 船越 貞平
監 査 役 小野 行雄 (小野行雄公認会計士事務所 所長)
監 査 役 山川亜紀子 (Vanguard Tokyo法律事務所 弁護士)

※1: 佐野勉一氏、土屋文男氏および水越尚子氏は、社外取締役です。
※2: 船越貞平氏、小野行雄氏および山川亜紀子氏は、社外監査役です。

● ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新の年間IRスケジュールのほか、最新の会社情報や財務情報等を随時公開・更新していますのでご覧ください。

トップページ

<https://www.tis.co.jp/>



IR情報

<https://www.tis.co.jp/ir/>

「IR関連資料」から統合報告書をはじめとした最新のIR関連資料をダウンロードいただけます。



Stock Information

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数

280,000,000株

発行済株式の総数

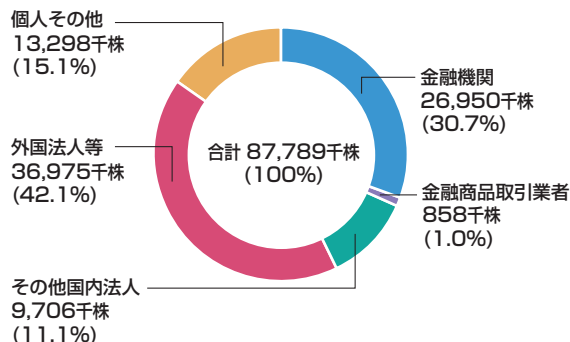
87,789,098株

(注) 2020年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割いたしました。これにより、発行可能株式総数は560,000,000株増加し840,000,000株、発行済株式総数は175,578,196株増加し263,367,294株となっています。

株主数

11,753名

所有者別株式分布状況



大株主の状況

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	7,155	8.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,371	6.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,990	4.74
TISインテックグループ従業員持株会	2,197	2.61
日本生命保険相互会社	2,073	2.46
MACQUARIE BANK LIMITED DBU AC	2,000	2.38
株式会社三菱UFJ銀行	1,654	1.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・三菱電機株式会社口)	1,598	1.90
BNYMSANV RE GCLB RE JP RD LMGC	1,415	1.68
JP MORGAN CHASE BANK 385151	1,396	1.66

(注) 1. 当社は、自己株式を3,660千株所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。なお、自己株式(3,660千株)には、TISインテックグループ従業員持株会専用信託口が保有する当社株式212千株および役員報酬BIP信託口が保有する当社株式79千株は含んでいません。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。
3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・三菱電機株式会社口)の持株数1,598千株は、三菱電機株式会社が議決権行使の指図権を留保しています。

● 社外からの評価

国内外の各種ESG(環境・社会・ガバナンス)評価機関から評価をいただき、当社は以下のSRI(社会的責任投資)インデックスやSRIファンドの組入銘柄となっています。

FTSE4Good Index Series

FTSE4Good Index Seriesは、グローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、ESG(環境・社会・ガバナンス)を強力に実践する企業のパフォーマンスを測定するために設計された株式指数シリーズです。



FTSE4Good

FTSE Blossom Japan Index

FTSE Blossom Japan Indexは、グローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、市場参加者に対してESG(環境・社会・ガバナンス)対応の優れた日本企業のパフォーマンスを測定するツールを提供するように設計されたものです。



FTSE Blossom
Japan

MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN)

MSCI日本株女性活躍指数(WIN)は、米国のMSCI社が作成した、性別多様性に優れた企業を対象にして設計されたインデックスです。



2019 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

※ TIS株式会社のMSCIインデックスの組み入れ、およびMSCIロゴ、商標、サービスマーク、またはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社によるTIS株式会社のスポンサーシップ、推薦またはプロモーションを意味するものではありません。MSCIインデックスは、MSCIの独占的財産であり、その名称とロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標またはサービスマークです。

Investor Information

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月中
基準日 3月31日
(定時株主総会において議決権を行使すべき株主の確定日。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。)

配当金支払株主確定日

期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

公告の方法

電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由のため電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載URL <https://www.tis.co.jp/pn/>

単元株式数 100株

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)

(郵送先)

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

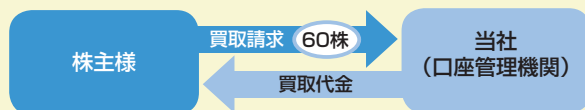
単元未満株式を ご所有の株主様へ

単元未満株式(1～99株)については市場で売買することができませんが、口座管理機関(証券会社等)*を通じ、当社に対して**買取請求(売却)**または**買増請求(購入)**をすることができます。お手続きの方法等については、口座管理機関にお問い合わせください。

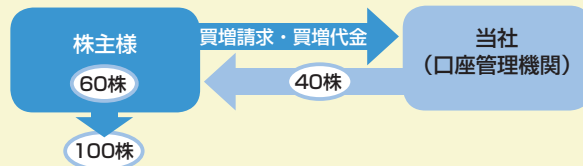
*特別口座に記録されている株式については、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)までお問い合わせください。

(例) 株主様が60株ご所有の場合

【買取請求(売却)の場合】



【買増請求(購入)の場合】



特別口座を ご利用の株主様へ

特別口座に記録されている単元株式については、特別口座のままでは売却できません。株式の売却等を円滑に実施するため、証券会社等への口座開設および特別口座からの振替手続きをお勧めします。なお、お手続きの方法等については、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)までお問い合わせください。

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

TIS株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー TEL (03) 5337-7070 FAX (03) 5337-7555

<https://www.tis.co.jp/>